



奈良県感染症情報

平成 31 年 第 18 週(4 月 29 日～ 5 月 5 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.79	(11.41)	↓	↓	↓	↘
2	A群溶連菌咽頭炎	0.47	(2.62)	↓	↓	↓	↘
3	咽頭結膜熱	0.21	(0.65)	↓	↓	↓	↑↑
4	インフルエンザ	0.18	(2.00)	↓	↓	↓	↓
5	突発性発しん	0.09	(0.24)	↓	↓	↓	↓

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

第 18 週は連休で休診の医療機関が多く、患者報告数が少なくなっています。

これから暑くなってくると、咽頭結膜熱や手足口病、ヘルパンギーナといった、夏に流行する感染症が増加していきます。タオルやおもちゃの共用から感染が広がる可能性があるため、できる限り共用は避けるようにしてください。また、石けんと流水による手洗いを習慣づけましょう。

季節の変わり目の気温差により体調を崩しやすい時期です。外出後の手洗い・うがいがいや、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけ、日頃から感染症予防に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

ほぼ無くなっていたインフルエンザが再び増加してきました。迅速検査ではA型で、症状は冬季の流行期に比し軽症のように感じます。ロタウイルスによる感染性胃腸炎が保育園児を中心に流行が続いています。ワクチン接種済の子は、従来軽度の下痢程度の発症でしたが、今期は発熱、嘔吐の症状発現がありワクチンの効果が少ない様です。手足口病やヘルパンギーナなど夏かぜがでてきています。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは見られなくなった。
hMPV の乳児例があり一部は紹介入院した。
感染性腸炎が持続、ほとんどノロ様。ロタもごく僅かにあった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヒトメタニューモウイルス感染症の流行が続く。
ロタウイルス腸炎は減少、かわってアデノウイルス腸炎が増加してきた。
B型インフルエンザはまだ散見されている。溶連菌感染症の流行も続いている。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 第 18 週 4 月 29 日 ~ 5 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	10 (0.18)	2 (0.14)	2 (0.14)		4 (0.40)		2 (0.50)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	7 (0.21)			5 (0.71)			2 (1.00)	
A群溶連菌咽頭炎	16 (0.47)	3 (0.33)	5 (0.56)	2 (0.29)	1 (0.17)		5 (2.50)	
感染性胃腸炎	61 (1.79)	10 (1.11)	20 (2.22)	16 (2.29)	10 (1.67)		5 (2.50)	
水痘	1 (0.03)						1 (0.50)	
手足口病	2 (0.06)		2 (0.22)					
伝染性紅斑								
突発性発しん	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)		1 (0.17)			
ヘルパンギーナ	1 (0.03)						1 (0.50)	
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎								
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	7 (1.17)		1 (0.50)	1 (1.00)	4 (4.00)		1 (1.00)	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件 (郡山1、吉野1) 後天性免疫不全症候群1件(吉野1)

❖ 第 18 週のトピックス ❖

◆元号を改める政令の施行に伴う通知様式の改正について
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000506664.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男						1						1	1	1		1				1	5	5590
	女								1			1			1	1						5	5792
RSウイルス感染症	男																						181
	女																						167
咽頭結膜熱	男		1	1		2	1															5	142
	女		1						1													2	100
A群溶連菌咽頭炎	男						2	2	3				1									8	621
	女			1	1	1			1	1			1		2							8	501
感染性胃腸炎	男		3	5	3	6		1	1	2	2		1		2							26	2089
	女		1	8	4	4	4	3	3	1					7							35	1912
水痘	男				1																	1	78
	女																					1	65
手足口病	男			1																		1	67
	女			1																		1	68
伝染性紅斑	男																						48
	女																						39
突発性発しん	男		1	1	1																	3	102
	女																						80
ヘルパンギーナ	男							1														1	9
	女																						4
流行性耳下腺炎	男																						10
	女																						11
急性出血性結膜炎	男																						52
	女																						57
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						2
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						12
	女																						15
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		1	3	1																	5	39
	女			1																		2	25

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R1 ▲ H30 □ H29 〻 過去10年平均

